

医療安全全国共同行動

行動目標7: 事例分析から改善へ

— 改善プロジェクトの展開 —

## 改善プロジェクトの展開

### ■ 支援チームからの提供事項

- 改善プロジェクトの基本的な考え方
- 改善プロジェクトの進め方
- 課題整理、対策立案の支援ツール
- 指標、目標の管理ツール
- 標準化

考え方の提示と  
活動支援

### ■ QCサークルとの違い

- ボトムアップとトップダウン
- 組織横断的活動
- 組織全員の活動

## 改善プロジェクトの展開

### ■ 分析と改善は一体で行う

- ・ 全ては、患者とその関係者が  
安心して信頼して医療を受けられ  
患者の容態を望ましいレベルに持って行くために
- ・ 患者のリスク低減のために → 医療者のリスク低減

### ■ 病院が持つ課題や問題を明確にする

- 病院共通の課題・問題 ← 共同行動の施策やツールの適用
- 病院固有の課題・問題 → 病院の改善活動の展開
  - ベストプラクティクスとして共同施策に展開
  - ベストトライアルとして活動事例の水平展開

## 改善プロジェクトの展開

### ●プロセス指向

- 能力のブラックボックス化
- プロセス（条件・状況・治療）とアウトカム（診療結果）の関係
- 当該分野の法則 *EBM (Evidence Based Medicine)*
- プロセス志向・・・物事の生起・因果の関係の理解
- 知識コミュニケーションが少ない状況 ⇒ 行動様式が生まれにくい

### ●システム指向（組織的・計画的運営）

- 管理対象すべてに個別対応するマネジメント
- 同時並行的にある目的達成のための行動
  - 役割・責任・機能の明確化
  - 誰が何をするか計画



- 全体目的の理解
- 個々の要素の位置づけ
- 要素間の関係
- 重要要素の理解

## 改善プロジェクトの展開

### ■ PDCA (Plan→Do→Check→Act) が基本

Plan : 目標を設定して、それを実現するための  
プロセスを設計 (改訂) する

- ① 活動することで何を実現しようとするのか  
目的を明確にし、共有する
- ② 何がどう変わればそれが実現できたと言えるのか  
活動期限、指標と目標値を定める
- ③ どうやればそれができるのか  
対策とその実施方法を立案し実施計画を定める

Do : 計画を実施し、そのパフォーマンスを測定する

周知徹底、教育・訓練

対策実施状況のモニタリング

- ・実施状況
  - ・指標データ
  - ・活動の進捗状況
- の確認と軌道修正、及び報告

## 改善プロジェクトの展開

Check : 測定結果を評価し、結果を目標と比較するなどの分析

- 目的・目標との照合
  - 成果と問題点の整理
  - 他への影響
- } 評価・分析

Act : プロセスの継続的改善・向上に必要な措置を実施する

- 良い成果をあげた仕事のやり方の標準化、および周知徹底と教育・訓練
- 標準のブラッシュアップ → 継続的な監視測定
- 成果が上がらなかった原因の調査・分析
  - ・ 真因の取り違え
  - ・ 対策内容の問題
  - ・ 対策実施の適切さ
  - ・ 指標設定の適切さ

## 改善プロジェクトの展開

### ■改善プロジェクトの始動

#### ●病院トップの役割：

- ・プロジェクト実施の明確なコミットメントの公示  
何故これをやらねばならないのか、いつまでにどこまで
- ・必要な資源の確保と提供
- ・改善チーム推進責任者、およびその責任と権限の決定
- ・定期的な活動評価と対策指示、
- ・現場レベルでの実施状況の確認

#### ●推進責任者の役割：

- ・チーム編成と必要なリソースの見積
- ・推進チームの組織マネジメント  
活動計画の立案と実行責任者の決定（5Wの決定）
- ・院内、院外ベストプラクティクスの調査・分析
- ・実施対策の決定と対策実施単位の決定
- ・実施施策の通知と教育・訓練の徹底
- ・対策実行状況の把握、成果及び結果の評価・分析・報告
- ・標準化、周知徹底、教育・訓練

## 改善プロジェクトの展開

### ■改善の組織体制

改善活動を牽引する組織は改善活動の要である  
有期性、独自性、相互関連性を考える

- 病院トップとの関係  
(改善組織のトップ、レビューや報告)
- 責任と権限の付与
- リソース（人・もの・金・時間）の投入
- 動く人の登用 ⇒ 目的に合致する人材の登用
- 部門間の関係、見識、



## 改善プロジェクトの展開

### ■ データの問題

#### 1. 目的にあったデータの収集

- インシデントレポート…反省文、始末書 ⇒ 活動の方向性

#### 2. 要因系データの収集

- 現象系では発生型別分析しかできない  
⇒ 対策系への展開（原因系データ）
- 問題箇所が分かるデータの収集

#### 3. 業務モデルに則ったデータの収集

- 情報（処方箋指示、口頭指示、申し送り）
- もの（薬、輸液、器具）
- 作業（与薬、注射）
- 何処に誤りがあったのか
- 作業標準の明確化

#### 4. 監視データの抽出

- 何を見て不具合が分かったのか（患者容態、薬の残量、痕跡）
- プロセスにおける管理のポイントの抽出 ⇒ 不具合の早期発見

## 改善プロジェクトの展開

### ■ プロジェクトの効果的・効率的進行のために計画を立案する

- ・ 目的の確認
- ・ ゴール（成果物・期限）  
[ステークホルダの優先する要求事項や期待]
- ・ 活動計画（スコープ・スケジュール）
- ・ 責任者・推進チーム
- ・ リソースの認識
- ・ 管理目標・評価指標の設定

を明確にする必要がある

⇒ プロジェクト（管理）計画書

PMP (*Project Management Plan*)